

セミナー・講座等における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策 ガイドライン

2022年5月31日策定

特定非営利活動法人 日本ムーブメント教育・療法協会

本協会は令和2年8月17日付、公益財団法人日本スポーツ協会による「講習会・研修会開催における新型コロナウイルス感染症対策について」を準用し、セミナー・講座等における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドラインを以下のとおり定めます。

なお、本ガイドラインの内容は、今後の感染状況等を踏まえて変更する可能性があります。

1. 基本方針

- 1) 講座の参加者や講師に対し、ホームページ等を通じて感染予防対策について事前に周知します。
- 2) 開催地に自治体や施設の開催基準に従って講座の開催の有無を決定いたします。講師や実技補助者等、スタッフの手配ができない場合には中止もあります。
なお、受講者への中止や変更の連絡は可能な限り、開催日の3日前までに連絡するものとし、すでに支払い済みの受講料については返金しません。
- 3) 講座を開催する場合は、以下のチェックリストに従い、感染防止対策を行います。
なお、感染防止対策チェックリストとして、各会場が独自に作成しているものがある場合には、それを優先して用いることとします。

2. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策チェックリスト

- 1) 主催者側の体調管理
 - 当日までの2週間の体調を記入する（別紙1）。
※提出は不要ですが、特定の施設（介護施設や保育所、病院など）で開催される研修の場合、提出を求められることがあります。
 - 健康告知用紙（別紙2）を提出し、検温を実施する。
 - 講座等の2週間前から当日までの期間内で、以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。
 - ① 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

2) 参加者やスタッフ等に症状が出た場合の対応について

- 講座の担当者は緊急時の連絡先、医療機関への搬送等の対応について決めておく。
- 個人情報の取扱いに外気に夜十分注意しながら、参加者から得た情報について、期間を定めて保存する。

3) 会場の設営

- 利用施設の定めるガイドライン等に準じて設営・準備、施設の利用人数を制限する。
- 人と人との距離を確保した座席配置する。
- 手指消毒用アルコールを各箇所に設置する。(受付、会場出入り口、洗面所等)
- 洗面所には、石鹸・手拭き用ペーパータオルを設置し、手指を乾燥させる設備は使用しない。また、使用したペーパーを捨てるゴミ箱を設置する。
- ドアノブ、手すり、机、演台などをこまめに消毒する。
- 外気による換気量を確保し、出来る限り窓を開け十分な喚起を行う。休憩時間は出入り口を開けるなどして換気する。
- 昼食を伴うスケジュールは極力避ける。避けられない場合は、昼食時の注意を怠らないようお願いする。
- トイレ内で過密にならないよう、休憩時間は十分にとる。

4) 受付時

- 混雑を避けるための対策を講じ、受付待機列の間隔を一定に保ち、「密」を作らないよう徹底致す。
- 飛沫感染を防ぐため、受付担当者はマスクを着用する。必要に応じて飛沫感染防止用シート等を設置する。
- 手指消毒ができるように消毒用アルコール等を設置する。
- 受付時には、健康告知カードを回収し、検温を実施する。

5) 講義形式会場の場合

- 講師と参加者の距離を十分に空け、講師はできる限り所定の位置で講義する。
- 受講者もできる限り所定の位置で受講するようお願いする。
- 講師はマスクを着用する。
- マイク・PC(マウス)等の使いまわしを避ける。止む負えず使いまわす場合には、講師が変わるごとに消毒する。
- 手話通訳者は、フェイスシールドを着用する。
- 発表やグループワーク等では、参加者同士の距離を可能な限り確保する。
- 会場の換気を十分に行う(機械換気、窓の開放による換気)。
- マイクをこまめに消毒する。

6) 実技形式会場の場合

- 身体接触がある体験・実技等はなるべく避け、口頭や動画・画像、資料配布等を活用し、説明する。
- 可能な限りマスクを着用する。
- 実技用具等をこまめに消毒する。
- 講義で共有の物品を使用する場合は、使用前後に手指消毒を行う。
- 参加者同士の距離を十分に確保する。
- 会場の換気を十分に行う（機械換気、窓の開放による換気）。
- 終了後は必ず手洗いや手指の消毒を行う。

以上

《別紙1》

体調管理表

氏名： _____

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座・研修会開催日前14日間の体調を記入してください。

《症状リスト》
①平熱を超える発熱 ②咳 ③のどの痛み ④倦怠感（だるさ） ⑤息苦しさ
⑥嗅覚や味覚の異常 ⑦その他（具体的症状は各日の欄にご記入ください）

日付	体温	体調	症状 (不良の場合、症状リストの番号を記入)
/	℃	良好 / 不良	
/	℃	良好 / 不良	
/	℃	良好 / 不良	
/	℃	良好 / 不良	
/	℃	良好 / 不良	
/	℃	良好 / 不良	
/	℃	良好 / 不良	
/	℃	良好 / 不良	
/	℃	良好 / 不良	
/	℃	良好 / 不良	
/	℃	良好 / 不良	
/	℃	良好 / 不良	
/	℃	良好 / 不良	
/	℃	良好 / 不良	
/	℃	良好 / 不良	

※原則として、提出の必要はありません。

《別紙 2》

健康告知用紙

年 月 日

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座当日の体調を記入し、受付時に必ずご提出ください。

氏 名： _____

連絡先： _____

1. ご自身の平熱と参加当日の体温

平 熱	本日の体温	本日の体調
℃	℃	良好 / 不良

2. 開催日及び開催前 14 日以内 について、以下の質問にお答えください。

質 問	回 答
現在、平熱を超える発熱、咳、のどの痛み、倦怠感（だるさ）、息苦しさ、嗅覚や味覚の異常等の症状はありません。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
この 2 週間、体調不良はありません。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
この 2 週間、濃厚接触者には該当していません。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

ご記入いただいた内容は、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、当該講座等において、参加者の健康状態の把握、開催・参加可否の判断および必要な連絡調整のために使用します（本用紙は一定期間保管した後、破棄します）。

なお、感染者またはその疑いのある方が発見された場合には、必要な範囲で保健所・行政機関等に情報を提供する場合がありますことを予めご了承ください。

ご協力ありがとうございました。